

成田の将来と日本の未来を見据えて撃つ！
そんなあなたにホットな話題をお送りする
最先端オピニオン紙

成田シティージャーナル

発行：ネットハウス
〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡 1958
TEL 0476-24-6777 FAX 0476-24-6778
<http://www.naritacity.com>
成田市、佐倉市、印西市、富里町、酒々井町、栄町、小林、安食に折込
発行部数：125,000部

ハートを大切にしたい優しい街造り目指そう！

成田が真の国際都市になるための12ヶ条

1. 成田空港に依存しない強い経済の基盤を創るため国内外の優良企業を誘致しやすい街造りをする
2. レベルの高いモラル基準を定めて庶民に悪影響をもたらす一切の非道徳的なメディアを排除する
3. 緑と水の自然環境を早急にクリーンアップして庶民が安心して余暇を楽しむことができるようにする
4. 体と心の健康管理を目指した心のケアを含む医療施設や福祉センター及び体育施設を整備する
5. 将来を担う若者の教育レベルを上げる為に教員の向上心を高めカリキュラムをより実践的にする
6. 日本の伝統的文化と宗教道徳観を大切にしつつ外国人も住み易い国際化された文化圏を創生する
7. 食文化を重んじ自給率100%を栄養バランスを考慮した上で目指しながら食料の備蓄を開始する
8. 最先端の通信インフラと交通網及び上下水道を市内全域に整備しエネルギーの供給を確保する
9. 将来を見据えた明確なマスタープランに基づく国際都市の創生に不可欠な条例と規制を施行する
10. あらゆる有事を想定した危機管理体制を整備し市民一体となって迅速な対応ができるよう訓練する
11. リスクを負ってでもやるべき事は何か何でも自信を持って実践して行く強いリーダーを選出する
12. 家族を愛し故郷を愛し国家を愛し世界を愛する市民が国際都市を創生するという事を理解する

福祉の原点は市民の開かれた心と分かち合う喜び！

アメリカで味わった開放感

1972年、今からちょうど30年前、初めて海外旅行にでかけた国はアメリカでした。当時まだ中学生だった私は米国にテニス留学をするための下調べをするため、カリフォルニア州ロサンゼルスにあるウエストウッドと呼ばれる街に1ヶ月程滞在しました。そこはUCLAと呼ばれる州立大学が敷地の大半を占める巨大な学生街であり、その広大なキャンパスに広がる無数の施設を、外国人の中学生である私が自由に満喫できた感激は今でも忘れられません。

UCLAと言えば当時全米トップクラスの力を持つプロ指向のテニスプレーヤーが集まる大学として有名で、キャンパス内数箇所に何十面もテニスコートを所有していました。そして州立大学（公立）であるが故、大学施設の大半はテニスコートも含め市民に開放されていました。無論、チームが練習する時間帯や大学のクラスがある時だけは別ですが、それ以外の時間はテニスコートの外に設置された黒板に名前を書き入れるだけで、誰でも、その素晴らしいクオリティーのテニスコートを無料で使うことが許されていたのです。偶然ですが自分が練習している横で当時日本のデビスカップの選手である九鬼選手も練習に励んでいました。でもテニスコートなどほんの一例に過ぎず、陸上競技用のトラックやウェイト・リフティングのジム、図書館、食堂などでさえ、中学生の私が大学生気分でも満喫することができました。

このオープン感、安心感、すなわち「誰でも受け入れるよ」という開放感が国際都市の基本的な在りかたではないでしょうか。真の国際都市ではこのようにどこの国の人でも安心して訪れことができ、スポーツや文化施設、各種クリニックなど必要

に応じて思う存分利用し、落ち着いた実のあるライフスタイルをエンジョイすることができるものです。

幸いにも成田は福祉施設、病院、公園、運動設備等ハード面においては大変恵まれています。大型の総合病院である日本赤十字病院を始めとして十分な数の街医者が存在するだけでなく、公園もいたるところにあり、県立公園に隣接している坂田ヶ池公園オートキャンプ場など、今後の発展が楽しみな公園も多数あります。また私立の体育館も屋内外含め、ハイクレイドな運動施設を提供しているの、庶民によって十分に活用されつつけることを期待したいものです。しかしそれで満足してはいけません。まだまだやるべきことが残されています！

公共の運動施設をもっと開放しよう

前述したようにアメリカでは公立の学校にある体育施設は一般庶民に開放されている街が大半です。そのかわり市町村が運営する体育館というものはあまりありません。このポリシーの利点は、一般にも開放するという理由で、学校内の体育施設をしっかりとメンテナンスすることにつながるといことです。そうすることにより学生時代から生徒達が庶民も率先して活用したがるようなレベルの高い施設で運動をすることができるようになります。一般的に日本の学校における運動施設は「子供が使うのだからいい加減で良い」と位しか考えられていないのでしょうか。テニスコートはあってもデコボコでぼろぼろの物にならず、野球場、プール、バレーボール、バスケットボールのコート、及び剣道、柔道場などの設備などあっても眼を背けてしまうようなものばかりです。一般的な市営体育館に多くの予算を掛けることも一案ですが、どちらかと言えば、学校施設のグレードアップを図り、一般にも

公開できるくらいレベルにした方がそれぞれ学生と市民にとって一石二鳥になるのではないのでしょうか？

福祉センターの在り方をもう一度見直そう！

成田では市のマスタープランに基づいて総工費40億円の福祉センターが中台に建設されています。1200坪を超える建物に保健、医療、福祉のサービスを持たすのですが、人口10万人の町には維持管理だけでもちょっと重荷となってしまいうように思えます。将来的に行政を圧迫する要因となる可能性は本当にはないのでしょうか？ハブル時期に建設された現在の市役所ビルを見ても、その建物が必要以上に肥大化してしまったことが懸念されます。それ故、分相応と言われるように10万人都市に適切な規模の福祉センターを将来的な運営コストを十分に考慮した上で一切の無駄を省いたプランを作成することが望ましいのです。

さてその内容です。まずシニアサロンのアイデアは良いのですが車社会を中心とする成田ではどれほどインパクトがあるか疑問です。日本は世界一の長寿国としてますます平均寿命を延ばし高齢化社会が今後も進みます。この成田シティージャーナル紙面においてもドクター米井のアンチエイジング講座が連載されており、どのようにして人間が持つ理想の寿命ともいえる120歳まで元氣な人生を送れるかが語られています。このように高齢者の占める人口の割合は高くなる一方ですので、如何に老後のケアを提供していくかが街のキャラクターを決める大きな鍵を握ることになります。日本では老人を家族で大切にケアするという考えが未だに主流ですので、シニアの人が集まるセンターを作るならそれなりの目的を掲げる必要があります。中途半端は禁物です。ただ単に立派な施設を作るだけでなく、十分なマ-

ケットリサーチを下済みにして本当に必要なケアセンターの機能のみに集中しないと宝の持ち腐れになりかねません。同施設内の地蔵福祉センター内のキッズルームと呼ばれる施設も子育て支援をすることが目的ならば成田市内に散乱する託児所や保育園の充実を図るべきであり、単なる子供の遊び場を作っても、少数の親子の溜まり場もしくは職員の託児所になりかねません。

障害者の為の施設は建物ではなく心が大事！

最後に障害者の施設に関して言うことは、まず庶民の心が開かれて、それらのハンディを背負う人達をどこでも快く受け入れる気持ちを持つことから始めなければならぬということです。日本では立派な施設を作っても障害者の方達がそこに隔離される形になってしまうのが現実です。事実、成田市において障害者の方達を見かける機会は殆どありません。大事なことは障害者の方でも堂々と生きていけるオープンな雰囲気を持った街造りを目指すことです。その土台の上に各種施設を作っていくのです。車椅子を使っている方が自分一人で昇り降りができるようにエレベーターを設置したり階段脇に斜面の緩やかなスロープを作ったり、障害者対応の公衆便所を作ったりすることは最小限の当たり前の知恵です。新規に設置する歩道が全て段差になっていることなどをもってのほか、必ず車椅子の方でも通行できるように各所にスロープをつくることも急務です。障害者に優しい街が国際都市の側面です。

先日NHKの番組でアメリカ、フロリダ州にあるGIVE KIDS THE WORLD (GKW)という児童対象の障害者施設の特集がありました。ここの特色は、まず全てがボランティアの力を結集した大規模プログラムであるということです。当初5つの大型ホテルを売却した資産家が子供達に夢を与えるための施設を作るためにその資金を使って広大な土地を購入しました。その後は複数の有名企業を中心にサポートをつのり、その結果として莫大な資金が集まり、障害児のための充実した複合リゾート施設が建設されました。驚嘆することはそこで今日働く方の大半がボランティアであるということです。また複数の学校が社会研修のために常時、中高生を学校のプログラムの一環としてGKWに送っています。そうすることにより青年時代から障害者と身近に接し、奉仕活動の実践を学ぶだけでなく、その必死に生きる障害者の姿をみて逆に励まされ、障害者に対する偏見が無くなり、彼らをごく普通に社会で受け入れる暖かい「心」が持てるようになります。また企業の優待プログラムも徹底しており、GKWのバッジをつければディズニーランドでさえもいつでも無料で入場できるほどのです。またGKWのプログラムは障害児を必死でケアする親のケアも忘れておらず、家族も含めて

皆に夢と希望を与えるようなプログラムを提供しています。毎日が格闘の日々をすごしている親をねぎらうために子供を1対1でボランティアが面倒を見ている間に、企業が高級ディナーに招待して差し上げ、親達も「がんばってきて良かった」と思えるように配慮してくれるのです。

このギヴ・キッズ・ザ・ワールドを思い起こすたびに福祉の原点を考えさせられます。それは社会一般における開放感と理解であり、たとえ障害者であっても一人の人間として尊厳を持ってのびのびと生きていくことができるオープンな環境の大切さを意味しています。どんな障害者でも是非訪ねてください、というような開放感が成田にあるのでしょうか？私達の町は障害者が精神的圧迫を暗黙の内に受けており、閉塞感のみが漂うような名前だけの国際都市になりきってははいませんか？

21世紀は心のケアの時代

現代社会の一番の問題は病んでいる心のケアと言えます。一見健康そうに見える人でも心の中はボロボロ、という人が少なくありません。また小中高生の学生が抱えている心の問題もマスメディアで取り上げられている以上に根深い課題が残されているようです。ここではこれらの諸問題を取り上げるスペースはありませんが、何はともあれ、国際都市には心のケアをするカウンセリング・センターが不可欠です。すなわち激動する現代社会の渦の中で自分を失い、心が病む人を対象とした心のカウンセリングが必要なのです。そのために経験を積んだカウンセラーや心理学者をお招きし、トラブルに直面している若者から老人まで全ての年齢層を対象として話を聞いてあげ、慰め、励まし、生きていく指針を与えることを目的としたカウンセリングを提供することが望ましいのです。いじめや各種犯罪、自殺というような反社会的な行動に移ることを避けるためにもカウンセリング・センターを通じて心のケアを十分に行うことが急務といえます。また心のケアには宗教文化の復興も見逃すことができません。そのために成田山新勝寺の存在は成田にとって大きいはずです。この宗教文化の復興と共に素朴な日本社会の良さを再発見し、現代の日本国における「心」の問題に真向から取り組む必要性を思わないではいられないのではないでしょうか。

自分の心がすざめば人の事など構っていらなくなります。しかしボランティアの活動を通して人間同士の触れ合いを深めていくことにより忘れ去られていた人間性が目覚めてきます。この「開かれた心」なくしていくら素晴らしい施設を作っても国際都市にはなり得ません。そしてボランティアの精神を庶民が大切にすることから社会福祉が始まるのだと心得るべきです。福祉は行政の問題ではありません。日本社会が抱えている私達の「心」の問題です。

(文・中島尚彦)

成田で Sail On!

Voyage 4 風

海の上では日頃街中でほとんど意識することのない風の強さ、風の向き、雲の流れに意識が向きます。何一つ遮る物のない海の真中で、なぜか風は一様に吹いていません。あるときは強く、そして次の瞬間ふと弱まり、次に吹いてくる方向は前回よりも東側へ5度風向きが変るといった具合です。ヨットのレースにはこの強い風をいかに誰よりも先に掴むか、風の振れをいかに相手に有利な位置で受けることができるか、ということが一番大事です。風の強弱もなく、風向きも全く変化しないという状態は自然界では皆無に近く、必ず変化が発生しています。ヨットレースに強い人はレースの始まる前から、天気図をながめ今日の風の変化はどうか予想し、実際の状況を確認しこの先どう変化するかを一生懸命考えながら戦略をたてます。

風は目に見えないため、微妙な変化は慣れるまではほとんどわかりませんが、2年3年と経験を積むにつれいろいろな手段で感じることができます。目で確認できる方法としては海の色です。風の強く吹いている場所は

文・高坂昌信

その分だけ波も大きく、遠くから見ると海の色がそこだけ色濃く見えます。300-400m先の海の色を、目を凝らして観察し、風の強いところ(ブローと呼びます)に誰よりも先に行くことができればレースに勝つ確率は高くなります。ところが海の色が濃いというのは風が強いところだけとは限りません。雲の影で暗くなっていたり、潮の流れによって色が違って見えたり、様々な原因で色が違って見えます。

ある夏、微風の浜名湖でレースをしていたときのことで。わずかな風がどこから吹き始めるのか、どの艇も四方をきょろきょろと見回しながらレースは始まりました。一番右側に位置した私たちの艇はコースとはちょっと離れたところに湖面の色が明らかに違うところを見つけました。メンバーの1人がブロー発見と小声で知らせてくれます。遠回りにはなりますがこういうときは多少の損をしても後の結果が良さそうに思えるルートを選択します。だんだんと湖面の色濃い場所へ近づき、このまま良い風を受ければその他の全ての艇を尻目に単独トップ間違い無



しです。ブローまであと20mあと10mそれ風が吹くぞ!! とメンバー全員が喜ぼうと身構えていましたが風は吹きませんでした。空は雲ひとつなく影にもなっていません。湖の中なので強い潮の流れはありません。“おかしい、どうした??”と顔を見合わせた後、湖面を見てがっかり。そこには小魚の群れがいたため湖面が波打ち、色が違っていただけでした。魚の群れがいたところで艇が早くなるわけはなく、単なる遠回りをしただけに終わったそのレースは当然のことながらさっぱりの成績でした。

また、風向きが変るときにはおもしろい現象が時折発生します。理科の授業で必ず習う、陸風、海風を覚えていますか? 南側が海の太平洋側を例に取れば、夜の間は温度の高い海へ温度の低い陸から北風が吹き、日中晴れていると陸のほうが温まり海から陸へ南風が吹きます。通常はこの変わり目には徐々に風が弱くなると同時に、風向きがだんだんと変化していきます。ところがまれに片や北風、こなた南風といった具合に一歩も譲らず相撲の仕切り線のように直線上に見合ってしまうことがあります。その間約100m 北からは追い風を受け快調に走る船、南からも追い風を受け快調に走る船、お互いに“あれまあどうなってるの”という事で真正面でご対面です。ところがお互いの真ん中は無風地帯となり、しばらく快調に走って

いた船はお互いに風をはらます止まってしまいます。しばらくすると南風に軍配が上がり海面は暖かい南風に覆い尽くされ、先ほどの北風はどこへ行ってしまったのか影もかたちもなくなってしまいました。これほど近い距離で180度風向きが違ふということは珍しく、普通ではなかなか目に見えず気づくこともないためこんなときは自然の不思議さを今更ながら実感します。

こんな調子でヨットに乗っている間は常に風の具合を気にしています。風が弱ければ次はどこから吹いてくるのかな? 強ければもっと強くなったら危ないから早めに引き返さなければいけないかな? 錨を打って停泊しているときも風向きが変わったら錨が抜けられないかな? 船の中で寝ていても夜中にステイ(マストを固定するワイヤーのこと)が風に鳴ると思わず海の具合はどうか? 等、全て風のことがばかり考えています。通常街中で生活していると台風が近づいたり、春一番のニュースをTVで目にしないと風については意識することも少ないかと思えます。普通は天気予報も雨が降るかどうかがということが一番で、降水確率は必ずありますが、予想風速はほとんど見かけません。海で一日中風のことがばかり考えていた後、都会に戻りビルの角を曲がったとたん強いビル風を受け思わず“ブロー”とつぶやいてしまったらもう一人前のヨット乗りです。

国際都市のさびれた駅前?

どんな街でも不思議のような謎めいた秘話があるものです。日本の玄関といわれる成田の中心街ともいえるJR、京成成田駅前も謎に満ちているのでは? まず比較的新しいJR成田駅西口は参道側よりも道路が広く、綺麗に区画整理されているにもかかわらず商業地区として指定されておらず、都市銀行や中高層のオフィスビル等が一つありません。フットトラフィックのある国際都市の中心街に銀行がないことは考えられず、未だに一戸建て住宅、空地、ビジネスホテルとコンビニだけ、というのは町のイメージとして最悪では?

次に参道側の問題。確かに成田山を中心とした街造りのイメージは大事ですが、この駅前の古びた町並みは伝統を守っているというより、複数の地主達が仲良く合意できないために、ただ単に駅前の再開発をひたすら引き延ばしているようにしか見

えません。駅前の商業地区に活気が溢れて、初めてその経済面における相乗効果を周辺地区にもたらすことができます。それには難題を乗り越えてでも駅前の開発を西口、参道側双方で推進し、もっと駅周辺をより美しく、誰もが快適に過ごせるようにまとめあげるのが行政、及び地権者に託された課題ではないでしょうか?

国際都市とは伝統を守り続けながらも、ハイセンスな街造りを目指します。いつまでも参道側のように「つまらない」まま放置されたような駅前では成田の将来は悲観的にならざるを得ません。また西口のようにバス停だけのロータリー駅などはもってのほかでしょう。ビジョンが無い町はいつか滅びてしまいます。ここはひとつ過去のしがらみを払拭して、市民が一体となって駅前の再開発を断行するべきではないでしょうか?



さびれたJR成田駅前参道口

Let's Tennis!

～～手ニスは、足ニス!?～～

いくら腕に自信があってもボールの飛んでくる場所に行かなければ打ち返せません。テニスをやったことのある人は分かると思いますが、テニスをしたあくる日、筋肉痛になるのは、決まって足のなのです。テニスはラケットを振り回すスポーツとイメージする人が多いと思いますが、悲しいことに実際はラケットを振っている時間よりもコートを走り回っているほうが多くなります。だから手ニスではなく、足ニスなのです。「もう疲れた。走りたくない」と思っているながらもボールが飛んでくるとつい必死に追いかけてしまうのです。(まるでフリスビーを追う犬のように) これも動物の本能なのでしょう? しかし、その苦勞が報われた時(走り回った末にナイスショットが決まった時)の快感は、たまたないものがあります。こうしてテニスにはまって行くのです。

そして行く末は「テニス病」。症状は、簡単。テニスが楽しくてしょうがない。頭の中は朝から晩までテニス。夢の中でもテニス。まさにテニスが恋人。私の周りにも居ますが彼も週末のテニスを生きがいに行っているといった感じで、まだまだ熱が冷める気配はありません。たまの休みも専らテニスで家族からは、白い目で見られてしまう。でもそんな人結構多いんじゃないでしょうか?



そんなご主人様を持つ奥様に願います。数少ない楽しみのひとつじゃないですか。健康にも良い。どうか彼らからテニスを奪わないでください。そして間違っても「私とテニス、どっちが大事なの?」なんてヤボなことは聞かないでください。それよりも皆で仲良く「テニス病」にかかってしましましょう。(文・坂井勝憲)

成田のホットサイト

- 行政・協会 成田市役所▶ <http://www.city.narita.chiba.jp/>
- メディア 成田市観光協会▶ <http://www.root.or.jp/naritakanko/>
- 成田ケーブルテレビ▶ <http://www.nctv.co.jp/>
- 成田エリアステーション▶ <http://area-station.com/>
- 成田ウェブ▶ <http://narita-web.com/>
- ショッピング コミュニケーション 成田国際フレンドシップクラブ▶ <http://welcome.to/NIFC/>
- クルメ 成田倶楽部▶ <http://www.d7.dion.ne.jp/~naribaka/>
- 求人 B-Can▶ <http://yp-net.co.jp/BCAN-TOP.html>
- レジャー 成田ゆめ牧場▶ <http://www.yumebokujyo.com/>
- 大和の湯▶ <http://www.yamatonoyu.com/>

成田が生んだ驚愕の本格輸入家具専門店!!

安さ断然日本一!!全商品最低価格保証付!!

人気の北欧デンマーク製家具を各種取り揃えております!

最高級ダイニングテーブル 落ち着いたデザインながら伸縮自在と機能的にも優れたダイニングテーブルが安らぎのひとときをお手伝いします。※イスは全て別売となります。

DC03K 129,800円	SM32B 129,800円
SM76K 79,800円	SM40MB 99,800円
PINAGE シリーズ	DC05B 149,800円
24072B 2,980円	24077B 19,800円
24071B 3,980円	24070B 3,980円
SM21MB 79,800円	

最低価格保証付 マネーバック

26000/106 45,800円※マットレスは別売です	30300/03 39,800円
---------------------------------	---------------------

スキャンバグ製ベッドフレームは未来を飾る美しく機能的なファニチャーです。デンマーク製のナチュラルウッドが寝室のイメージを一新することでしょう。

ウォールシステム 機能的なデザインと多種多彩なデザインのウォールシステム。取り扱い種類も豊富できつとお気に入りが見つかります。 48011 ウォールシステム 14,000円 48012 ウォールシステム 20,000円 48033 ウォールシステム 40,000円	和室にも合います 48011 48012	メイプル・チェリー・ナチュラルカラー有り 48033	高級メープル・チェスト 1. 15,800円 2. 21,800円 3. 29,800円 4. 29,800円 5. 8,000円
子供用家具 Young America Stanley 子供用ベッド 30386W 11,800円 92394-22 デスクハッチ 54,800円 92394-27 子供用デスク 59,800円 52494-22 デスクハッチ 45,800円 52494-27 子供用デスク 54,800円 52494-70 子供用チェア 29,800円 52494-13 子供用シェルフ 69,800円 52494-16 子供用チェスト 49,800円 42001B 4,800円 42015B C0ラック付 17,800円 47060B ガラス扉付 35,800円 42019B 15,800円 42014B キャビネット付 17,800円 47060B ミニオーブン用 19,800円 42020B 15,800円 42030B コーナーバス用 17,800円	パソコンデスク PC周りを機能的に収納するパソコンデスク。多種多様なデザインが備うのもファニチャーハウスならでは。 52494-12 子供用デスク 99,800円 42015B C0ラック付 17,800円 47060B ガラス扉付 35,800円 42019B 15,800円 42014B キャビネット付 17,800円 47060B ミニオーブン用 19,800円 42020B 15,800円 42030B コーナーバス用 17,800円		

株式会社 ファニチャーハウス 平 日10:00~19:00 土 日12:00~17:00
〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958 TEL 0476-24-5111 FAX 0476-24-5112
<http://www.furniturehouse.co.jp>

かもねぎの

COME ON MUSIC!!

2

今回はなんと自作ギターの登場です。オーナーはギタリストの安達繁雄さんと成田を中心に全国で演奏活動なされているプロのギタリストです。この重厚なギターの名は「炎情」。安達さんが以前CDを出した際にそのタイトルにちなんだとのことで45年を超えるキャリアの中でも集大成ともいべきギターです。ストラトキャスターやレスポール、モズライトなどを使ってきた安達さんがギターを作ろうと思ったきっかけは意外なもの。和太鼓を作ろうとしてケヤキの木を入手した際に「これでギターを作ったらいい音かもしれない」とギター工房に持っていったところ「こんな重い木じゃ作れない」と断られてしまいそれならと自分で作ってしまったそうです。材料を見ても普通は海外の比較的軽い木や楓などが多いのですがこの「炎情」はボディにケヤキ、ネックが山桜、指板が赤檜。持ってみるとすっきりと重いですが大変バランスがよく弾きやすいギターです。単純に奇をてらっているだけでなくやはりそこはプロが使うギターとして機能も重視。モズライト風のボディデザインもさながらMIDIドライバーまでついているのは驚きです。出ない音は無い!!と言いつつ切れます。安達さんはこの「炎情」をはじめとして10本ほど作ったそうでその材質もイチョウや桜など日本の木にこだわっているそうです。なんと「ツインリープスのメンバーのジャイアント石田さんのベースも安達さんの手作り。タイトな低音が印象的です。さて安達さんは現在「ゆうこ&ツインリープス」というグループで、数年前より成田に拠点を移し活動なされていますがこのたびクラウンより新曲「縁」が全国発売されました。これは長年連れ添った夫婦の絆をテーマにしたとのことで安達さんいわく「これは僕なりのプライダルソングの一つの形だね。」とのこと。「ゆうこ&ツインリープス」はシンガーのゆうこさんと安達さんを中心にオールディーズや歌謡曲中心のレパートリーで若者男女問わず人気を博しています。とくに去年で15回目となった「ふれあいチャリティコンサート」は成田国際文化会館で行われ大盛況、その他東京拘置所などの慰問演奏も積極的に行っています。そんな安達さんのこだわりのトーンがCDやコンサートで聞けますヨ。安達さん、これからもCOME ON MUSICで頑張ってください!!



ゆうこ&ツインリープスの演奏は「AIらんど」にて楽しめます。
お問い合わせは
成田市上町552-2 不動うどん2F
TEL 0476-22-2666まで。

双子のアート展 (世界の街角)

～NAAアートギャラリー一周年～

地元成田で『アトリエ源栄(もとさか)』として雑誌等でも幅広く活躍している双子の源栄さん姉妹が、世界を旅して受けた刺激を元に表現した油絵(妹・和恵)とアクセサリー(姉・朋恵)の数々を国内外の人達に気軽に楽しんでもらうため一同展示します。油絵25点、アクセサリー100点、その他イラストやブーク、手作り小物など展示内容も盛りだくさんです。入場料は無料。気軽に伺ってみたいわががたでしょうか。

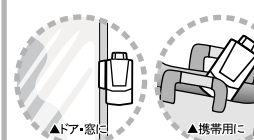
日時：2002年3月21日(木)～4月9日(火) 10:00～18:00
場所：成田空港第1ターミナル本館5階『NAAアートギャラリー』
連絡先：アトリエ源栄 (TEL0476-24-3338)

安心を作り出す大音量センサー

大音量アラームが侵入者をシャットアウト!!

WA28 500円
ウィンドウアラーム

ドア・窓に関わらず、書庫やクローゼットなどにもお使い下さい。設置用の両面テープと電池付属で即使用可能!! マグネットモジュールと離して使用すれば、携帯用の防犯ベルとしての利用も可能。大音量で不審者を退散。



物騒な世の中、セキュリティーしないと不安。でも費用も不安... そんな方に朗報です! 設置も操作もいたって簡単! 強力アラーム音で不審者の侵入を知らせる防犯センサー3種をご紹介します。そして何ととってもこの価格。お部屋の数だけ設置できます!

MA70 1,200円

動作センサー/壁掛けタイプ
赤外線センサーが侵入者を感じて、アラーム音を鳴り響かせます。本体キー/リモコンでON/OFF操作。設定30秒後にセンサースタート。リモコン電池付属

CA68 1,500円

動作センサー/天井取付タイプ
センサーが広範囲に渡り侵入者を感知します。付属のリモコンでON/OFF操作。設定30秒後にセンサースタート。リモコン電池付属

お問合せ
株式会社サウンドハウス
TEL: 0476-22-9333
FAX: 0476-22-9334

いろは歌が語る古代日本の謎

弘法大師が「いろは歌」の作者か

字母歌「いろは」

いろはにほへと
ちりぬるを
わかよたれそ
つねならむ
うるのおくやま
けふこえて
あさきゆめみし
ゑひもせす

いろは歌

色は匂へど
散りぬるを
我が世誰ぞ
常ならむ
有為の奥山
今日越えて
浅き夢見じ
酔ひもせず

いろは歌に隠されたメッセージの謎とは

㊦	ア	ヤ	ラ	ヨ	チ	㊩
ヒ	サ	マ	ム	タ	リ	ロ
モ	キ	ケ	ウ	レ	ヌ	ハ
セ	ユ	フ	キ	ソ	ル	ニ
㊲	メ	コ	ノ	ツ	ヲ	ホ
	ミ	エ	オ	ネ	ワ	ヘ
	シ	テ	ク	ナ	カ	ト

㊦㊩㊲ 「とがなくてしす」

「いろは歌」の著者は伝統的に弘法大師が平安時代に書いたものといわれています。その根拠の一例に護名という詩人が始めの二句を書いたことが記されている「古今序註四」が挙げられます。また空海の師である勧修も著作に開わつていと唱える学者もおります。いずれにせよ超人的な知識と知恵を必要とする「いろは歌」でありますから、空海に付き添って多少の編集を加えた者がいたと仮定しても何ら不思議はないでしょう。

しかし「最近の学説では空海説を否定する見解が登場し、特に「いろは歌」に隠されている暗号文の解説を根拠に、そのメッセージを分析して作者を見出そうとしています。すなわち7×7の升目に入れた「いろは歌」に含まれている「答無くて死す」という怨念とも思われる折句を解明するわけです。そこで当時罪なくして死んだ詩人に作者を限定し、尚且つ万葉集というは歌の共通点を見出していくうちに、万葉集の編集者であった柿本人麻呂説等が浮上してくるわけです。このような議論の延長線として空海説が否定され

始め、現在では「いろは歌」の作者は空海ではなく、別の詩人が平安時代に書いたものであるという学説がごく一般的になりました。その理由として「いろは歌」を空海の作とする文献が空海の死後250年以上経たぬものであるため信憑性に欠けているとか、空海の時代には区別されていたア行とヤ行の「正」が「いろは歌」では区別されていない、また歌の句調が空海の時代のものにそぐわない等、各種議論が掲げられています。しかしこれらの学説のどれもまた決定的根拠に乏しいものであり、推測の域を出ないというのが現実です。

特に空海の時代における歌謡の句調と「いろは歌」の句調が著しく違うために空海作ではないという見解に結びつけることは大きな落とし穴があります。確かに空海の時代には五七調四句、または五七五七七の短歌が一般的であり、いろは歌が使われている和讃式七五調四句とは一見してリズムが違いため、時代錯誤という理由で「いろは歌」の作者は空海ではない、と考えてしまいがちです。しかしながら、これら句調の違いを唱える学者は「い

ろは歌」が折句と呼ばれる暗号文であることを見落としてしまっているのです。すなわち「いろは歌」は表面上、確かに七五調四句となっていますが、暗号文として升目の字を読み込んでいくとそこには空海の時代において主流となっていた五七調四句の流れとなるメッセージが含まれているのです。そして「いろは歌」に秘められている折句を読み込んでいきながらその暗号文に隠されている複数のメッセージを解読することにより、初めて作者の背景や意図が見えてくるのです。

そこで「いろは歌」の原点に戻り、暗号文の解読をするために7×7の升目に歌を入れてみると、すぐに気が付くのが「いろは歌」の角3点、及び、下段一列を用いて形成されている2つの中心のメッセージです。それは「イエス」「トガナクテシス」というキリスト教の影響を受けたとも思える折句です。それだけではなく、「いろは歌」に隠されている他の折句を解読していきますと、そこには旧約・新約聖書に書かれているヤウエーの神に関する文脈と思われる記述が重なっているのです!

この事実から察するに、「いろは歌」の著者は平安初期当時、まだ日本国には全く伝わっていなかったはずのキリスト教及び聖書に書かれているメッセージを何らかの理由で知り得た人物に断定することが出来ます。そう考えると答えが明確になってきます。すなわち「いろは歌」の著者は弘法大師こと空海以外には考えられないのです。信仰の奥義を学ぶため中国に旅立った空海はそこで当時キリスト教一派であるネストリウス派の教義に触れる機会に恵まれ、聖書を学んできたことは周知の事実であります。そこで悟った教えを折句として母字歌にまとめたのが「いろは歌」なのです。そしてこの「いろは歌」を唱えることにより、読者が何時の間にか空海が目指した信仰の道に引き込まれていき、神の神秘に触れる機会を与えられるようになることを空海は願ったのではないのでしょうか。その結果が後の日の真言密教へと発展していったと思われま

信仰心に開く真理を複数の折句としてつた47文字の母字歌にまとめれば完成させることは出来ません。しかしそれを古代日本で実現したのが「いろは歌」であり、多数の古代文献に記載されている通り、この「いろは歌」こそ日本国が生んだ史上最高の詩人であり宗教学者である空海弘法大師が書いた作品であると推察できます。

成田シティージャーナルに寄す

成田NCJには、視覚に異質な盛り込みをかけるような広告がない。広告の顔が極めて地味で、真面目なもののばかりである。その件数といいこれで採算がとれているのかナと思う。そして地域紙にありがたの「けれん」が全くないのに注目した。さらに殆どベタ組みの記事構成に「何が特別の意図がある」と感じた。と同時に、12万5千の発行に対して、何人が読むかを考えた。言葉をかせせばクズ龍直行が何パーセントになるだろうかである。しかし待てよ、と思った。この細かい活字の組版をいわず本分に読む読者は確かにいる。その読者吸引力は、中味の精神にあると推測した。たとえば第3号の「国際都市・成田にふさわしい高いモラル創り」これが、精神のポイントなのは、言わずもがなである。

◆倉橋行堅(88歳)千葉県印旛郡在住
読売文化センター千葉にて「大勢に話す力を養う講座」を開講。
また、千葉県内80市町村の社会福祉において視覚障害者対象の『声の広報』の審査員を歴任。

「成田シティージャーナル」に関するご意見、ご感想、ご要望、その他なんでも、皆さんの声をお待ちしております。連絡は下記まで。
電話：0476-24-6777 電子メール：comment@naritacity.com

